

## 今夏の電力需給見通しについて

2018年05月18日  
北陸電力株式会社

本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において、今夏の電力需給に係る対応がとりまとめられました。

北陸エリアの電力需給見通しは以下のとおりです。本見通しは、電力広域的運営推進機関がとりまとめた電力需給検証報告書においても公表されております。

### 【北陸エリアの今夏の電力需給見通し】

猛暑（2010年度並みの気温）の場合

（送電端、単位：万kW、％）

	7月	8月	9月
供給力	574 (577)	569 (562)	548 (519)
最大電力	524	524	485
供給予備力	50 (53)	44 (37)	63 (34)
供給予備率	9.5 (10.1)	8.4 (7.1)	13.1 (7.0)

（注1）調整力及び需給バランス評価等に関する委員会「電力需給検証報告書」より抜粋

（注2）括弧は火力増出力運転のみを考慮した場合（連系線の活用を考慮しない場合）

（注3）上記の最大電力はいずれも一日最大で想定している。

なお、同小委員会において、エリア間の市場取引等を考慮すれば、全国の各エリアで供給力を確保できる見通しが示され、昨年に引き続き、国として特別な節電要請を実施しない方針が示されました。

しかしながら、当社といたしましては、志賀原子力発電所が停止している中、今後の気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以上